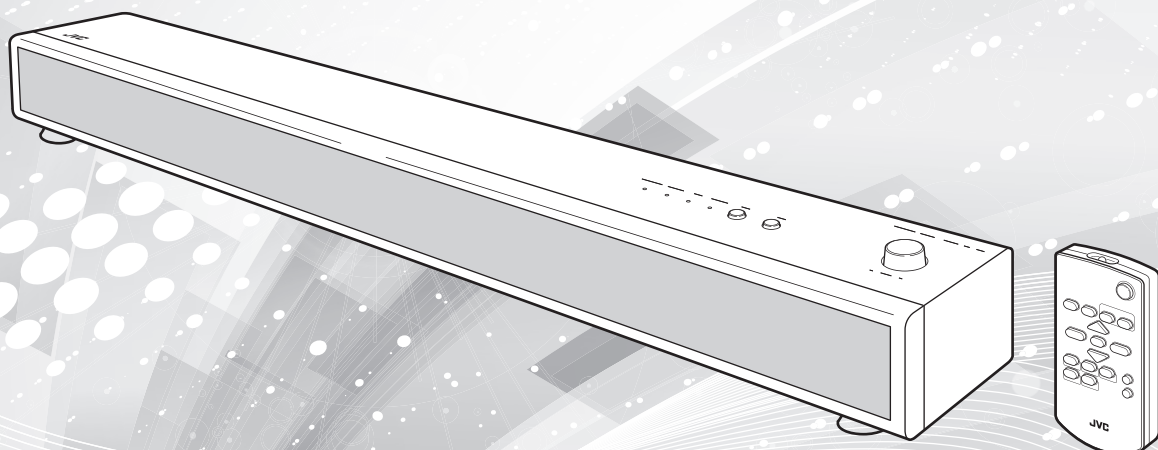


JVC

取扱説明書/保証書

ホームシアターサウンドシステム

型名 **TH-BA31-B**
TH-BA21-B



◆ もくじは5ページにあります



Bluetooth®



dts
Digital Surround



DOLBY
DIGITAL



[TH-BA31のみ]

お買い上げありがとうございます

⚠ ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要などきにお読みください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>

こんなことができます♪

本機で利用できる主な機能を紹介します。
詳しくは各機能の操作方法をご覧ください。

臨場感あふれる
サラウンド再生
を楽しめます。

……**13** ページ

高音質な
DTSフォーマット
に対応。

(※TH-BA31のみ)

……**12** ページ

BLUETOOTHに
対応したスマートフォンや
タブレット端末を使って
ワイヤレスで音楽再生を
楽しめます。

(※TH-BA31のみ)

……**14** ページ

接続方法を知りたい

..... **10** ページ

操作方法を知りたい

..... **12** ページ

困ったときは

・ テレビから音が出ない
..... **17** ページ

・ 操作ができない
..... **18** ページ

サブウーハーの
迫力ある重低音
を楽しめます。

..... **13** ページ

テレビのリモコンで
本機の電源と音量を
操作できます。

..... **16** ページ

はじめに（つづき）

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合には、いずれのボタンもお使いいただけます。
- 本書に掲載しているイラストは、TH-BA31 を例にしています。また、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書の説明とは異なる操作でも働く機能があります。

オートパワーセーブ（節電機能）について

- 本機には、無操作が6時間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。（⇒13ページ）

■ 本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。

上面:15cm以上、側面:15cm以上

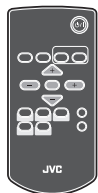
もくじ

はじめに.....	2	BLUETOOTH機器を聞く (※ TH-BA31 のみ).....	14
こんなことができます♪.....	2	初めて接続する.....	14
本機を設置するときは.....	4		
準備.....	6	テレビのリモコン信号を 転送する.....	15
付属品を確認する.....	6	TV リモートパススルーを使う.....	15
リモコンに電池を入れる.....	6		
各部の名称.....	7	テレビのリモコンで 操作する.....	16
本体上面 / 前面.....	7	テレビリモコン学習機能を設定する... ..	16
本体背面.....	8	テレビリモコン学習機能を解除する... ..	16
リモコン.....	8		
本機を設置する.....	9	困ったときは.....	17
棚に設置する.....	9	テレビの音声がでない.....	17
壁に取り付ける.....	9	困ったときは.....	18
		まずはお試してください.....	18
接続.....	10	一般.....	18
テレビやレコーダー / プレーヤーと接続する.....	10	BD/DVD レコーダー (プレーヤー).....	18
電源コードを接続する.....	11	BLUETOOTH 機器 (※ TH-BA31 のみ).....	19
		その他の機器.....	19
		本機をリセットする.....	19
基本操作.....	12	その他.....	20
基本操作.....	12	主な仕様.....	20
一時的に消音する.....	12	商標.....	20
DVD などの DTS 音声を聞く (※ TH-BA31 のみ).....	12	電波について.....	21
サブウーハーを調節する.....	13		
サラウンドを使う.....	13	保証とアフターサービス —必ずお読みください—.....	23
ステレオに切り換える / 音声を切り換える.....	13		
映像と音声のずれを調整する.....	13		
オートパワーセーブを使う.....	13		
オートパワーセーブの ON/OFF を 切り換える.....	13		

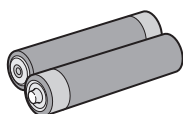
準備

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。



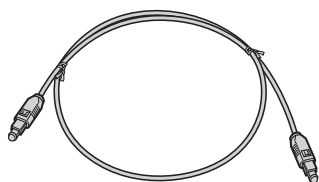
リモコン (1 個)
RM-STHBA21 または RM-STHBA31



単 4 形乾電池 (2 個)



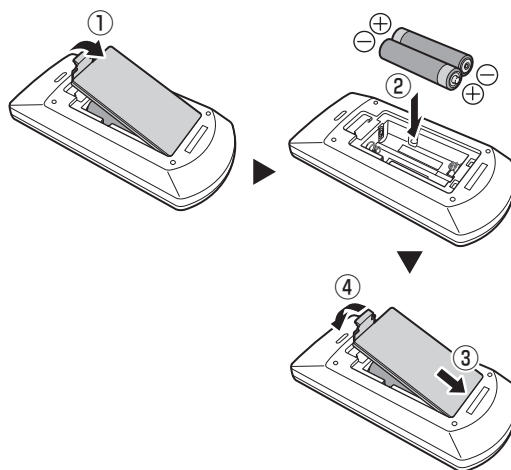
電源コード (1 本)



光デジタル音声ケーブル (1 本)

リモコンに電池を入れる

電池の+と-の向きを正しく入れてください。
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

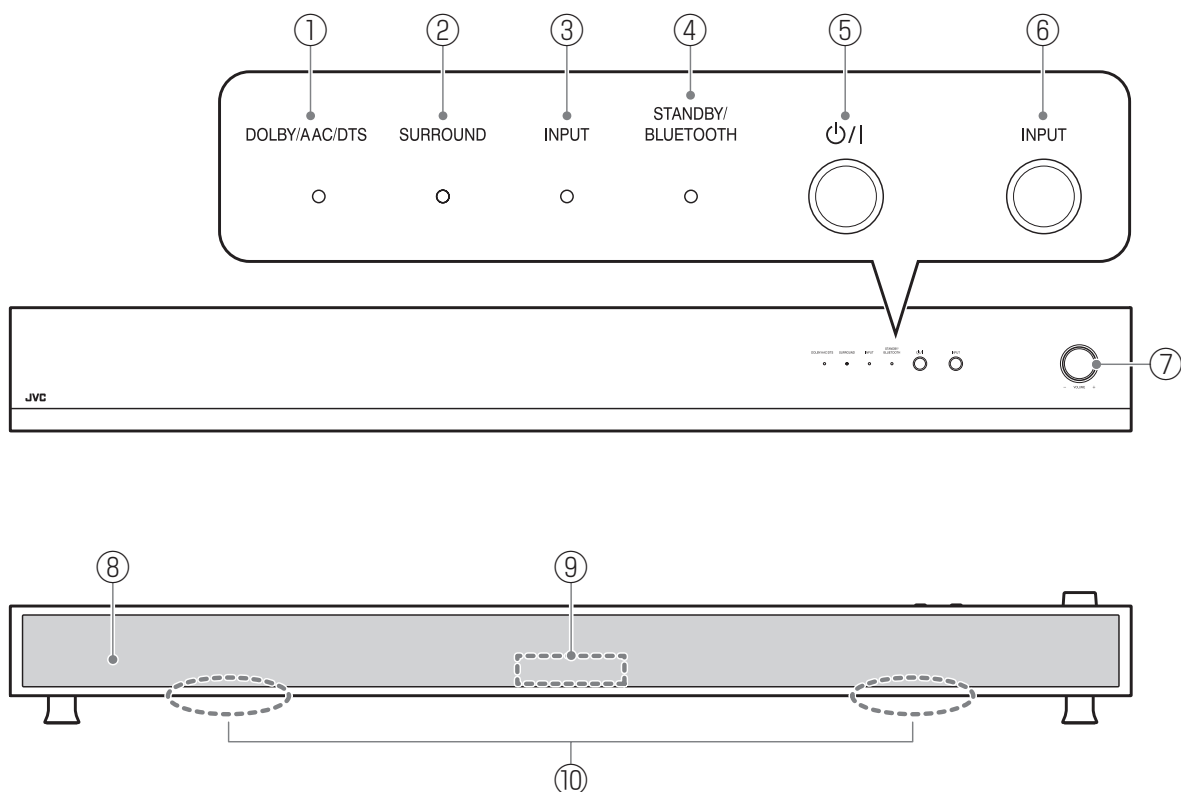


ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、セロファンテープやビニールテープなどを巻き付けて絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶついたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

各部の名称

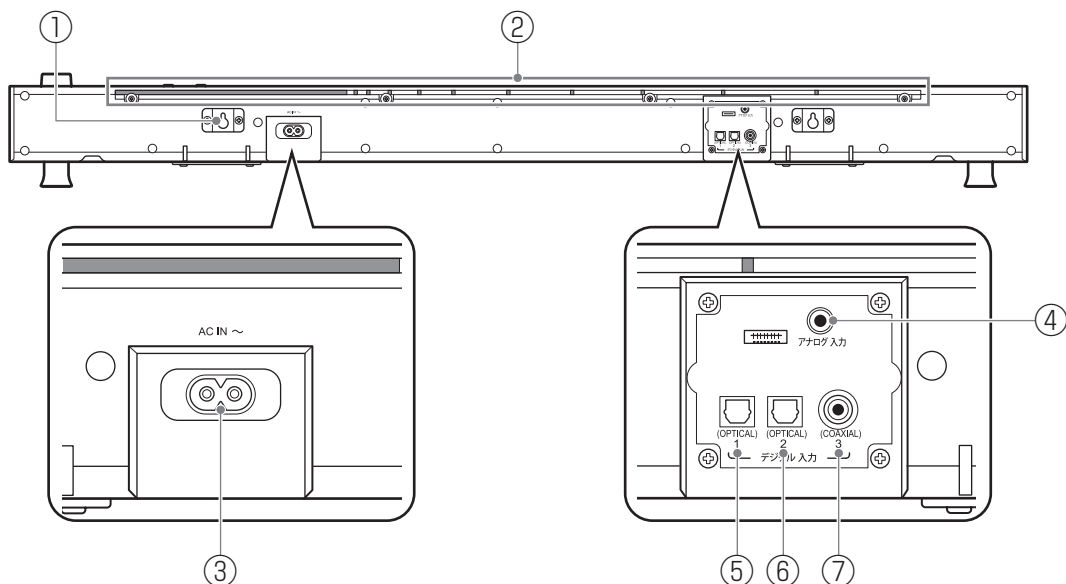
■ 本体上面/前面



- ① **DOLBY/AAC/DTSランプ***
(⇒12、13、16ページ)
※TH-BA21は**DOLBY/AAC**ランプ
入力音声に応じてランプの点灯表示が変化します。
PCM: 消灯
アナログ: 消灯
DOLBY DIGITAL: 赤
AAC: 緑
DTS*: オレンジ
※TH-BA31のみ
- ② **SURROUNDランプ**
(⇒12、13、15、16ページ)
- ③ **INPUTランプ**(⇒12、13、16ページ)
- ④ **STANDBY/BLUETOOTHランプ***
(⇒12、13、14、15、19ページ)
※TH-BA21は**STANDBY**ランプ
- ⑤ **電源ボタン**(⇒12、13、19ページ)
- ⑥ **INPUTボタン**(⇒12、14、19ページ)
- ⑦ **ボリュームノブ**(⇒12ページ)
- ⑧ **スピーカー**
- ⑨ **リモコン受光部**
- ⑩ **サブウーハー(底面)**(⇒13ページ)

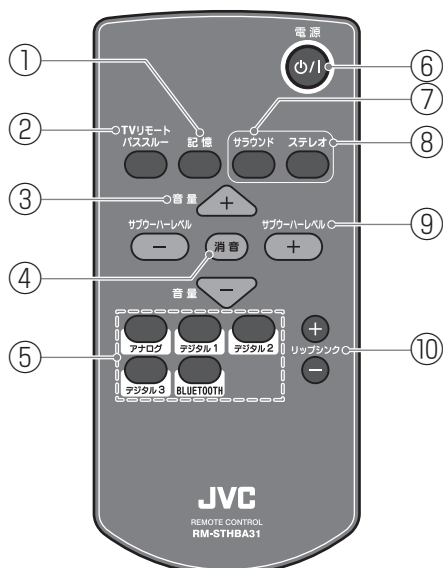
各部の名称 (つづき)

本体背面



- ① ブラケット(⇒9ページ)
- ② TVリモートパススルー(⇒15ページ)
- ③ AC IN端子(⇒11ページ)
- ④ アナログ入力端子(⇒10ページ)
- ⑤ デジタル1(OPTICAL)端子(⇒10、11ページ)
- ⑥ デジタル2(OPTICAL)端子(⇒10、11ページ)
- ⑦ デジタル3(COAXIAL)端子(⇒10ページ)

リモコン



- ① 記憶(⇒16ページ)
- ② TVリモートパススルー(⇒15ページ)
- ③ 音量+/- (⇒12ページ)
- ④ 消音(⇒12ページ)
- ⑤ 入力切替(⇒12、14ページ)
アナログ/デジタル1/デジタル2/デジタル3/
BLUETOOTH*
※TH-BA31のみ
- ⑥ 電源(⇒12ページ)
- ⑦ サラウンド(⇒13ページ)
- ⑧ ステレオ/音声切替え(主/副)(⇒13ページ)
- ⑨ サブウーハーレベル+/- (⇒13ページ)
- ⑩ リップシンク+/- (⇒13ページ)

本機を設置する

棚に設置する

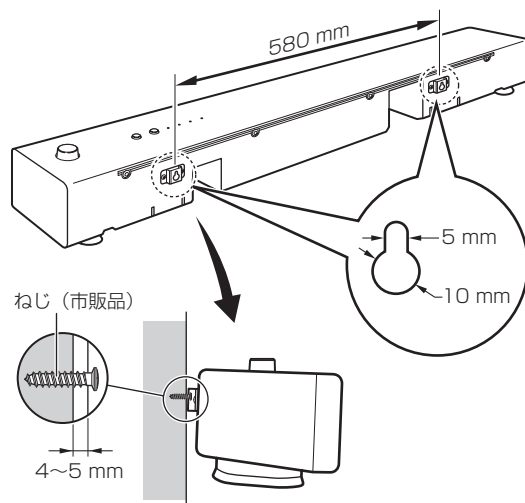
よりよい音質を確保するため、本機は段差のない平らな場所に設置してください。

お知らせ

- 音質は本機の設置場所や向きにより変化しますので、最適な場所や向きを選んで設置してください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。スピーカーの磁気により、ブラウン管方式のテレビの場合、色ムラが発生することがあります。テレビから少し離して置いてください。

壁に取り付ける

本機は壁に取り付けることができます。



お知らせ

- ねじは付属していません。

ご注意

- 本機の重さは約4.5キロです。落下による事故を防ぐために、取り付けるときには注意してください。
- 落下を防ぐためにも、十分な強度を持つ柱や壁、ねじを用いて取り付けてください。
- ベニヤ板や石膏ボード類には設置しないでください。落下する恐れがあります。
- 壁へ取り付けるときには、以下のことに注意してください。
 - 必ず専門の業者に依頼してください。
 - 取り付け場所は慎重に選んでください。日常生活の妨げになる場所は避けてください。けがをしたり物が破損する場合があります。
 - 付属の電源コードを他の物の上に掛けないでください。

接続

テレビやレコーダー/ プレーヤーと接続する

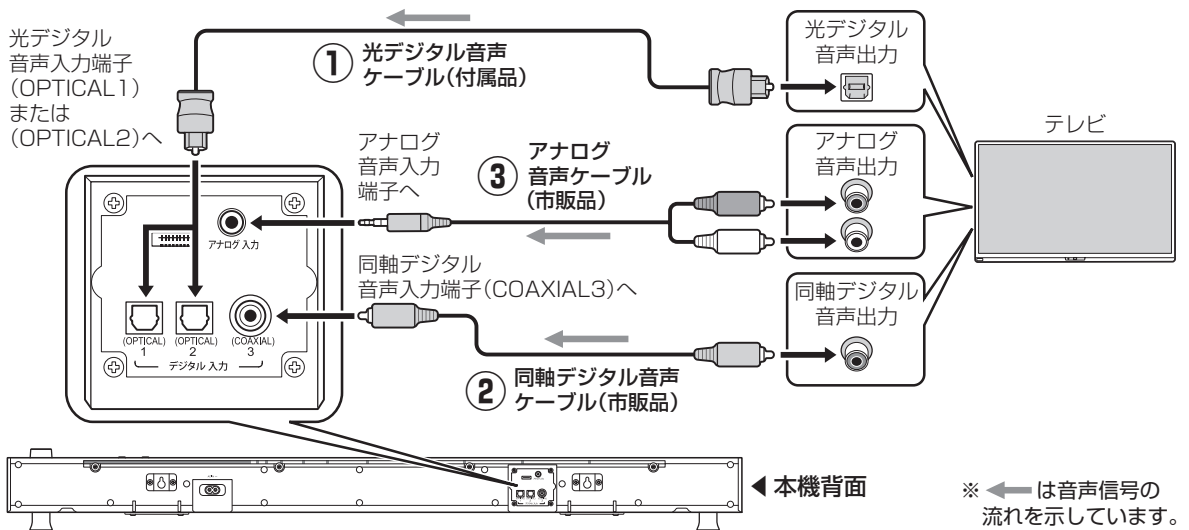
アナログ入力にはアナログ音声機器を、光デジタル入力と同軸デジタル入力にはデジタル音声機器を接続できます。

ご注意

- ①の接続ができない(テレビに端子が無い)場合は、②あるいは③の接続をしてください。
- すべての接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

テレビと接続する場合

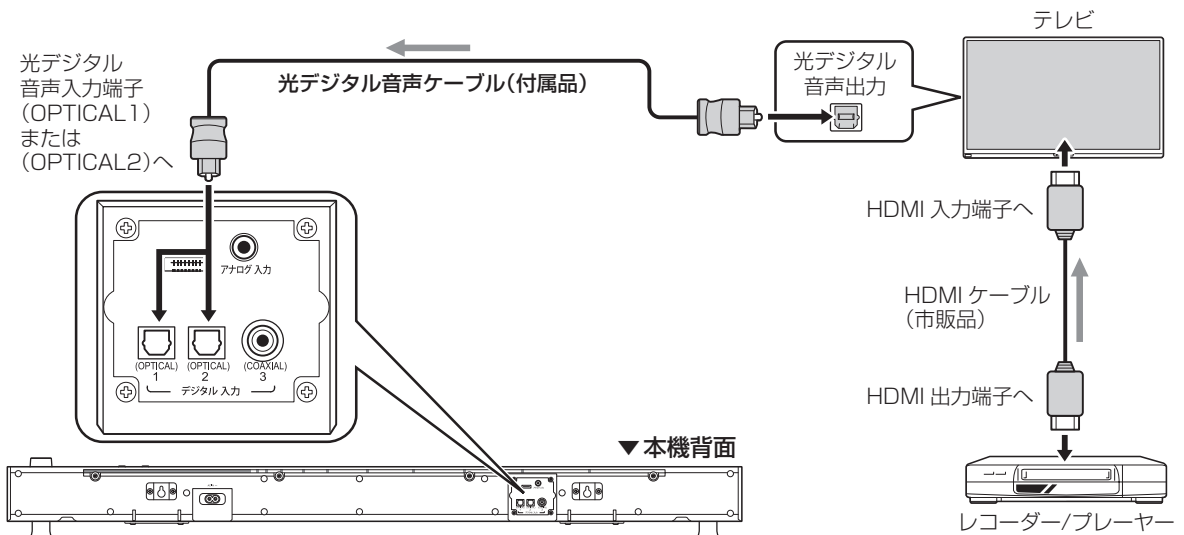
お使いのテレビの出力端子を確認し、①、②、③のケーブルのうち、どれか1つで接続してください。



テレビとレコーダー/プレーヤーなどをHDMIケーブルで接続している場合

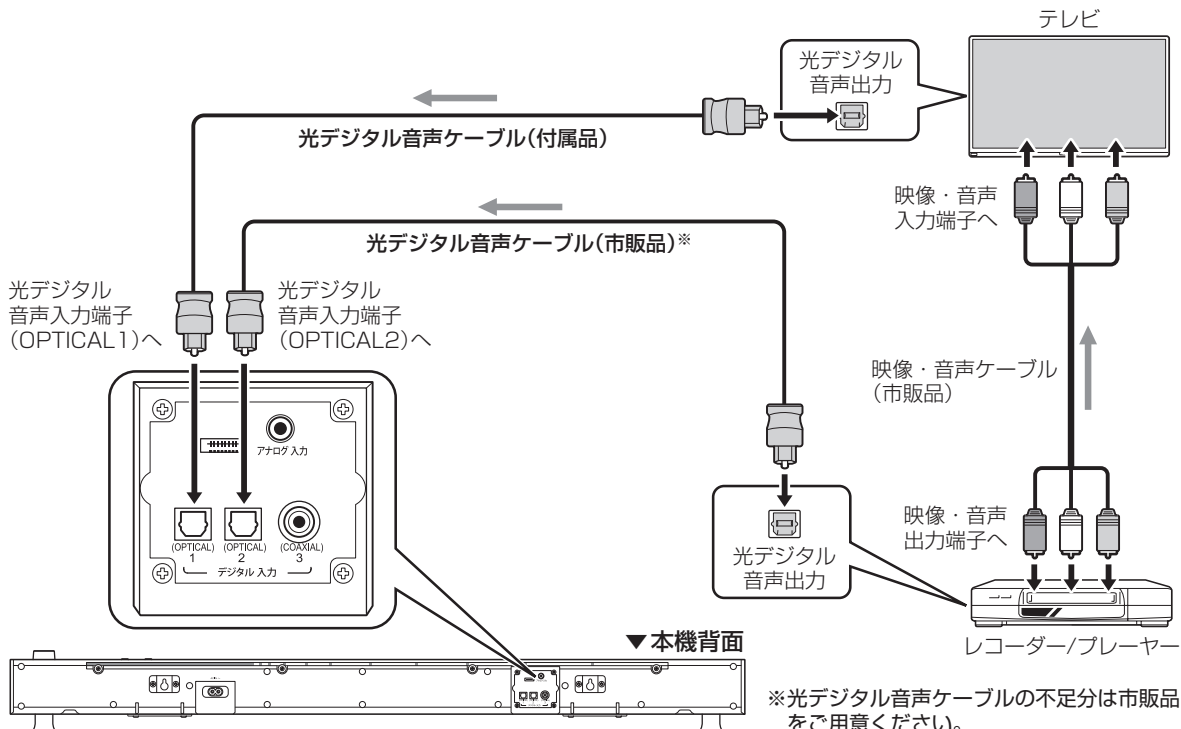
お使いのテレビの出力端子を確認し、本機と接続してください。

※ここでは例として光デジタル音声入力端子(OPTICAL 1)または(OPTICAL 2)に接続しています。



テレビとレコーダー/プレーヤーなどをHDMIケーブル以外で接続している場合

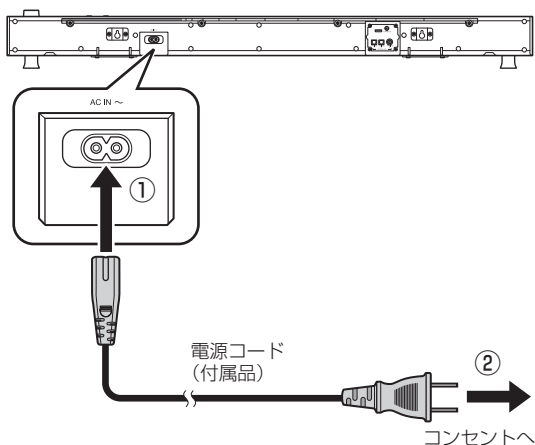
お使いのテレビと外部機器の出力端子を確認し、本機をテレビと外部機器の両方に接続してください。
 ※ここでは例として光デジタル音声入力端子(OPTICAL 1)と(OPTICAL 2)に接続しています。



電源コードを接続する

すべての接続が終わったら、付属の電源コードをコンセントに接続してください。

- 付属の電源コードを本機のAC IN端子に接続してから、コンセントに差し込んでください。



お知らせ

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ご注意

- 本機の掃除や移動は、必ず電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 火災や感電を防ぐために
 - 付属の電源コード以外は使用しないでください。
 - 付属の電源コードを本機以外の製品には使用しないでください。

基本操作

基本操作

1 電源を入れる



お知らせ

- 電源を切っている状態（待機状態）でもわずかに電力を消費します。待機状態中は**STANDBY/BLUETOOTH**ランプ*が赤く点灯し、本機の起動中は消灯します。完全に電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

※TH-BA21は**STANDBY**ランプ

2 入力を切り換える



※TH-BA31のみ

- [INPUT] は押すたびに入力が切り換わります。



※TH-BA31のみ

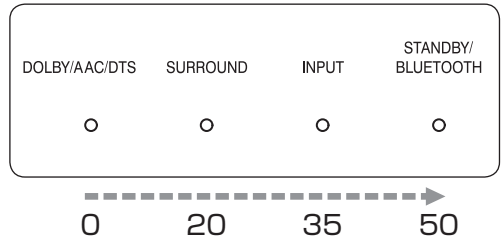
- 入力切り換えに応じて**INPUT**ランプの色が変化します。
 - アナログ：消灯
 - デジタル1：赤
 - デジタル2：緑
 - デジタル3：オレンジ

3 音量を調節する



- 調整範囲：0 ~ 50

- 音量に応じて本機ランプの点灯表示が変化します。



ご注意

- 音を出す前には音量を小さくしてください。音量が最大に設定されていると、スピーカーが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

お知らせ

- 音量設定が35以上のときに電源を切ると、次に電源を入れた時に音量は自動的に35になります。

4 電源を切る



一時的に消音する



- 消音中は本機のランプが点滅します。
- 音量を元に戻すには、もう1度押すか、リモコンの[音量+]または本体のボリュームノブを回して音量を調節してください。

DVDなどのDTS音声を聞く (※TH-BA31のみ)

一部のディスクには、DTS音声収録されています。ディスクの音声メニューなどからDTSを選択して再生してください。

ご注意

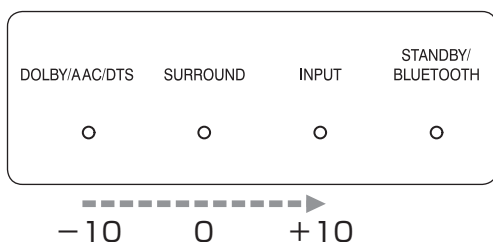
- DTS音声の再生には、レコーダー/プレーヤーと本機が直接デジタル音声ケーブルで接続されている必要があります。

サブウーハーを調節する

低音を増強させたり、抑えることができます。



- 調整範囲: $-10 \sim 0 \sim +10$
- サブウーハーの音量に応じて本機ランプの点灯表示が変化します。標準値に戻す場合は、**SURROUND**ランプが点灯するまでボタンを押して調節してください。



サラウンドを使う

サラウンド効果を得ることができます。



- ボタンを押すたびに設定が切り換わり、**SURROUND**ランプの点灯表示が変化します。

設定(ランプ表示)	効果
3Dムービー (赤)	映画の再生に適したサラウンドモードです。セリフを聞き取りやすくし、臨場感と、残響効果のある音声で再生します。
3Dバーチャル (緑)	音に空間的な広がりをつけた、仮想サラウンド効果が得られます。
ナチュラル (オレンジ)	自然な音質になるように音の成分を補完し、ボリュームレベルに合った最適な音質で再生します。

ステレオに切り換える/音声を切り換える

サラウンド効果をキャンセルします。



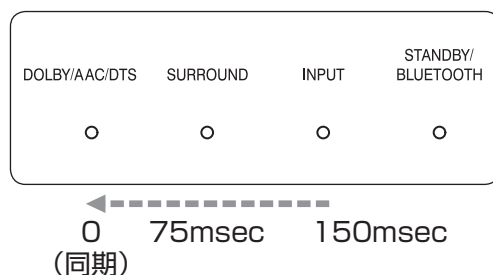
- 多重音声のとき、音声(主/副)を切り換えます。

映像と音声のずれを調整する

テレビの映像が音声とずれている場合は、リップシンク機能でタイミングを調節します。
(リップ=唇、シンク=同期の意味)



- 調整範囲: $0 \sim 150\text{ms}$
- 調整時間の設定に応じて本機ランプの点灯表示が変化します。



オートパワーセーブを使う

無操作状態が続くと自動で電源切れる機能です。

オートパワーセーブが**ON**のとき、6時間何も操作が行なわれない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- お買い上げ時の設定は「**オートパワーセーブ ON**」です。

オートパワーセーブのON/OFFを切り換える



- オートパワーセーブを**ON**にするときは、**STANDBY/BLUETOOTH***ランプが2回点滅するまで押し続けてください。
- オートパワーセーブを**OFF**にするときは、**STANDBY/BLUETOOTH***ランプが3回点滅するまで押し続けてください。

*TH-BA21は**STANDBY**ランプ

BLUETOOTH機器を聞く (※ TH-BA31 のみ)

初めて接続する

お手持ちのスマートフォン、タブレット端末等のBLUETOOTH機器の音を本機で聞くことができます。

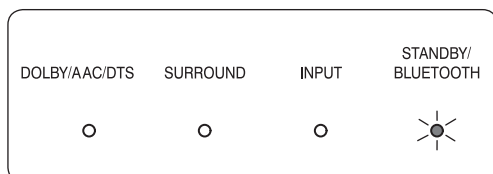
初めて接続するときは、BLUETOOTH機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。

1 BLUETOOTHに入力を切り換える



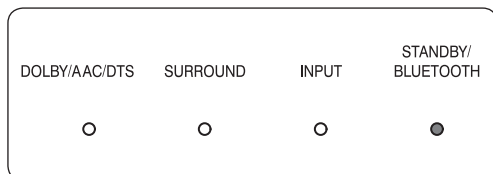
リモコン

- [INPUT] を複数回押して入力を切り換えることもできます。
- 入力がBLUETOOTHに切り換わると**STANDBY/BLUETOOTH**ランプが青く点滅します。



2 BLUETOOTH機器でペアリング操作をする

- ペアリングについてはBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。BLUETOOTH機器で見つけた機器の中から「TH-BA31」(本機)を選びます。
- ペアリング中にPINコード(パスキー)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。
- 接続に成功すると**STANDBY/BLUETOOTH**ランプが点灯に変わります。



3 BLUETOOTH機器を再生する

- BLUETOOTH機器の再生音が本機から流れます。自動的に再生が始まる場合もあります。

お知らせ

- BLUETOOTH機器とペアリングされている状態で本体の入力を切り換えると、STANDBY/BLUETOOTHランプが青から紫に変わります。この状態はペアリングを維持している状態を示しています。ペアリングが切れると、ランプは消えます。
- 他のBLUETOOTH機器を再接続する場合は、本機の入力をBLUETOOTHに切り換えてから相手機器で接続操作をしてください。
- BLUETOOTH機器によっては、本機に接続できない場合があります。

ご注意

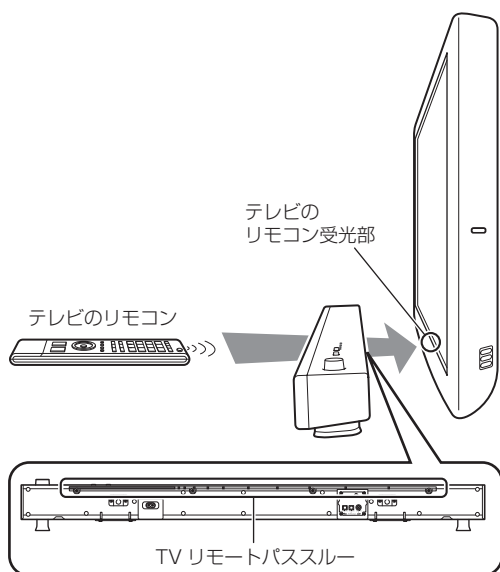
- 本機に接続できる機器は、BLUETOOTHバージョン3.0 + EDR、BLUETOOTHプロファイルのA2DPIに対応している必要があります。
- BLUETOOTHで接続できる距離は、最大10mです。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。

テレビのリモコン信号を転送する

TVリモートパススルーを使う

テレビの近くに本機を設置すると、本機がテレビのリモコン信号を遮って、テレビ本体に届かないことがあります。テレビリモートパススルー機能をONにすると、テレビのリモコン信号を本機背面のTVリモートパススルーを通してテレビに転送できます。

- お買い上げ時の設定は「TVリモートパススルーOFF」です。



お知らせ

- 本体背面のTVリモートパススルーがテレビのリモコン受光部になるべく近づくように、本機を設置してください。

ご注意

- TVリモートパススルーをONにしても、お使いのテレビによってはテレビのリモコン信号を受信できない場合があります。これはお使いのテレビのリモコン出力赤外線周波数と、本機のリモコンセンサーの受光可能周波数が異なるためです。
- 本機背面のTVリモートパススルーと、テレビのリモコン受光部との間を遮らないでください。
- 本機がコンセントにつながれていないとテレビのリモコン信号を出力できなくなり、TVリモートパススルーが働かなくなります。本機を使用

しないときでもコンセントにつないでおくことをおすすめします。(スイッチ付きのコンセントの場合は、スイッチを入れてください。)

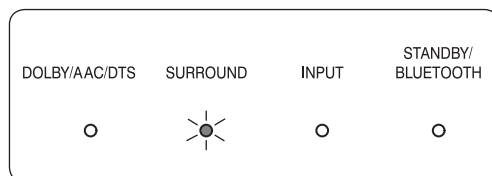
1 電源を入れる



2 TVリモートパススルーをONにする



- **SURROUND**ランプが2回点滅するまで押し続けてください。



- TVリモートパススルーをOFFにするときは、手順2の状態ですべてのランプが3回点滅するまで押し続けてください。

テレビのリモコンで操作する

テレビリモコン学習機能を設定する

テレビのリモコンで本機の電源のオン/オフや、ボリューム調節の操作をすることができます。テレビのリモコンで操作するには、テレビのリモコン操作を本機に学習(記憶)させる必要があります。

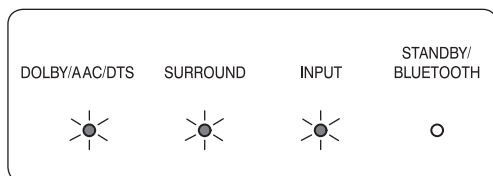
ご注意

- すべてのテレビリモコンでの動作を保証するものではありません。

1 本機をテレビリモコン学習状態にする

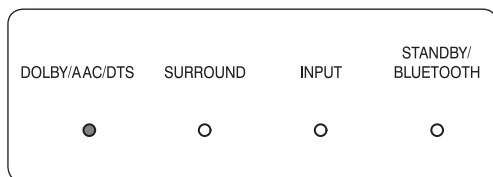


- 本機のランプが点滅します。ランプの点灯状態を確認しながら操作してください。



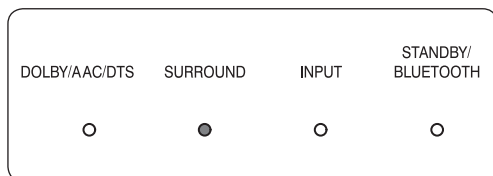
2 テレビのリモコンの電源ボタンを短く数回押す

- DOLBY/AAC/DTS*ランプが緑に点灯してから消灯すると学習が成功です。
※TH-BA21はDOLBY/AACランプ



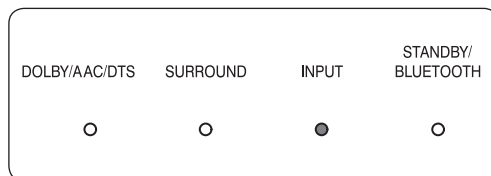
3 テレビのリモコンの音量+を短く数回押す

- SURROUNDランプが緑に点灯してから消灯すると学習が成功です。



4 テレビのリモコンの音量-ボタンを短く数回押す

- INPUTランプが緑に点灯してから消灯すると学習が成功です。



テレビリモコン学習機能を解除する



- [記憶]を5秒以上押し続けます。
- DOLBY/AAC/DTS*、SURROUND、INPUTランプが3回点滅したら解除完了です。

※TH-BA21はDOLBY/AACランプ

お知らせ

- 学習機能で本機にリモコンコードを設定しても、本機のリモコンで操作することができます。

ご注意

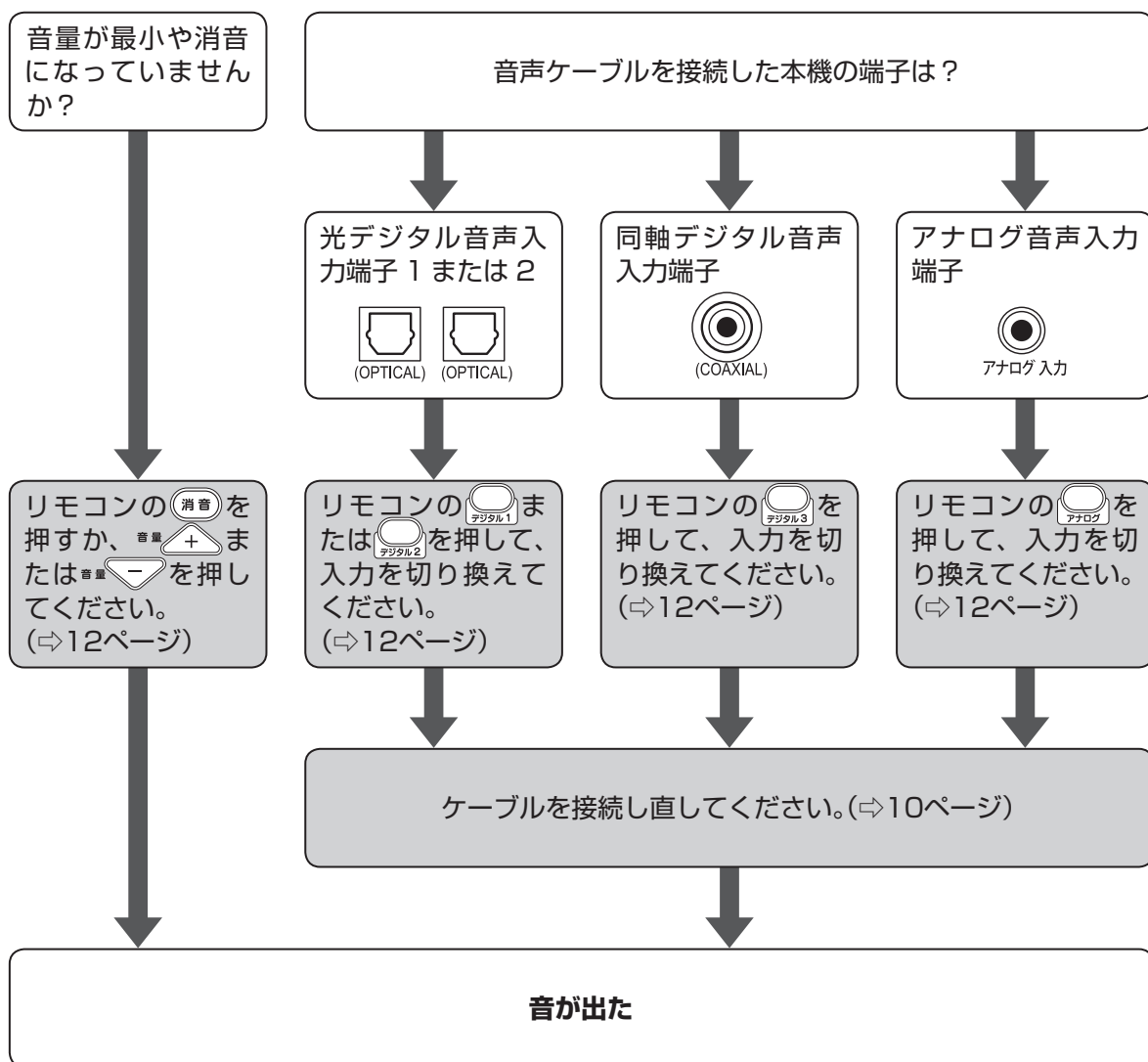
- この機能により、テレビと本機の音声と同時に鳴るとエコーがかかったような不自然な聞こえ方になることがあります。この場合は、以下の対処で解決することがあります。
 - テレビにお手持ちのヘッドホンなどを接続するなどして、テレビのスピーカーをオフにする。
 - リップシンク機能でテレビ音声と本機の音声タイミングを合わせる(⇒13ページ)
 - テレビ音声を消音(ミュート)する。
- 上記の処置をしても解決しない場合は、テレビリモコン学習機能を使わず、本機のリモコンでテレビとは別個に音量調節してください。

困ったときは

テレビの音声が出ない

本機から音声が出ないときは、次の項目を確認してください。

- BLUETOOTH機器の音声が聞こえないときは19ページをご覧ください。
- 本機と接続している音声機器の電源が入っているかも確認してください。



困ったときは (つづき)

困ったときは

問題の多くは、当社ホームページ
<<http://www3.jvckenwood.com/>>や以下のQRコードから最新の製品Q&A情報をご覧ください
ただくことで解決できます。カスタマーサポート
センターにご相談になる前に下記をチェックして
ください。



(QRコードは
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です)

- PCサイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。

まずはお試しください

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、1度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してください。

一般

電源が入らない。

➔電源ケーブルを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

➔オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(⇒13ページ)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➔操作には時間制限があるものがあります。もう1度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

➔リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。

➔リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。

➔本体に近づいて操作してください。

➔リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

➔リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

本機から主・副音声と同時に鳴ってしまう。

➔[ステレオ]を押して音声を切り替えてください。(⇒13ページ)

テレビのリモコンがきかない(テレビを操作できない)。

➔本機をテレビの近くに設置するときは、TVリモートパススルー機能をONにしてください。(⇒15ページ)

➔TVリモートパススルー機能をONにしてある場合は、テレビのリモコン信号がテレビに届きます。本機の電源プラグがコンセントに差し込まれているか、確認してください。(スイッチ付きのコンセントの場合は、スイッチを入れてください。)(⇒15ページ)

➔本機背面のTVリモートパススルーと、テレビのリモコン受光部との間が遮られていませんか。(⇒15ページ)

テレビリモコン学習機能がきかない(テレビのリモコンで本機を操作できない)。

➔テレビリモコン学習機能の設定を確認してください。(⇒16ページ)

➔本機の電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。(スイッチ付きのコンセントの場合は、スイッチを入れてください。)

BD/DVDレコーダー(プレーヤー)

テレビの音は出るのに、BD/DVDレコーダー(プレーヤー)の音が出ない。

➔レコーダー(プレーヤー)とテレビを赤白のアナログ音声ケーブルで接続している場合は、テレビからデジタル音声出力されず、本機から音が出ない場合があります。レコーダー(プレーヤー)は、テレビとだけでなく本機とも音声ケーブルで接続してください。また、本機の入力をレコーダー(プレーヤー)を接続した入力に切り換えてご使用ください。(⇒11ページ)

DTS音声再生されない(※TH-BA31のみ)。

➔本機とレコーダー(プレーヤー)は直接デジタル音声ケーブルで接続されていますか。(⇒11ページ)

➔レコーダー(プレーヤー)のDTS音声出力設定を確認してください。

➔TH-BA21はDTS音声に対応していません。

BLUETOOTH機器(※TH-BA31のみ)

BLUETOOTH機器に接続できない。

- ➡お使いの機器のBLUETOOTH機能がオンになっているか確認してください。
- ➡ペアリング操作をやり直してください。(⇒14ページ)
- ➡お使いのBLUETOOTH機器のプロファイルがA2DPIに対応しているか確認してください。

BLUETOOTH機器から音が聞こえない。

- ➡リモコンの[BLUETOOTH]を押して、入力を切り換えてください。(⇒14ページ)

音が途切れる。雑音が入る。

- ➡BLUETOOTHの距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけたり、場所を変えて試してみてください。

その他の機器

iPodやウォークマン等、外部機器を接続したい。

- ➡市販のステレオミニプラグ付きオーディオコード等で、本機のアナログ入力端子(⇒10ページ)に接続してください。

本機をリセットする

上記の処置をしても正しく動作しないときは、本機をリセットしてみてください。

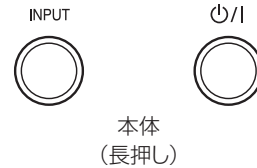
ご注意

- リセットを行なうと各種設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 本機を待機状態にする(電源が入っている場合は、電源を切る)

- **STANDBY/BLUETOOTH***ランプが赤で点灯していることを確認します。

2 本機をリセットする



- [INPUT]と本体の I/O を、本機のすべてのランプが点滅するまで押し続けてください。(押す順番は [INPUT]、 I/O の順で、そのまま両方のボタンを押し続けてください。)
- リセットが完了すると**STANDBY/BLUETOOTH***ランプが赤で点灯し、待機状態に戻ります。

※TH-BA21は**STANDBY**ランプ

その他

主な仕様

実用最大出力

120W (フロント: 30 W × 2、サブウーハー: 30 W × 2)
(JEITA THD 10% / 6 Ω)*

入力端子

アナログ × 1 :
デジタル :
光デジタル × 2 :
同軸デジタル × 1 :

スピーカー

スピーカーユニット :
フルレンジ : 7 cm × 2
サブウーハー : 8.5 cm × 2
定格インピーダンス : 6 Ω

共通

電源 : AC 100 V、50 / 60 Hz
消費電力 : 30 W
待機時電力 : 0.50 W 以下
外形寸法 : 幅 1000 mm × 高さ 105 mm ×
奥行き 110 mm
質量 : 約 4.5 kg

BLUETOOTH

規格 : BLUETOOTH Ver.3.0 + EDR
対応プロファイル : A2DP
最大通信距離 : 見通し距離約 10m (使用環境により異なります)
送信出力 : Class2
使用周波数帯域 : 2.4GHz 帯

* は JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

商標

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 米国特許 5,956,674、5,974,380、6,487,535 およびその他の国における特許 (出願中含む) に基づき製造されています。DTS および記号は DTS 社の登録商標です。DTS Digital Surround および DTS ロゴは DTS 社の商標です。製品にはソフトウェアを含みます。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- AAC ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

電波について

・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること

- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

・本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

2.4FH1

・製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は10mです。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

・使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

・下記の電子機器と本機の距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。

電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。

音声や映像にノイズがのることがあります。

・本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

メモ

保証とアフターサービス—必ずお読みください—

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

• 修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>

• 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、
JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



0120-2727-87 (フリーダイヤル)

(携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

保証書

出張修理

品名 ホームシアターサウンドシステム		製造番号	
型名 TH-BA31/TH-BA21			
お客様	お名前	ふりがな 様	
	ご住所	□□□-□□□□ 電話 () -	
お買い上げ年月日		保証期間	お買い上げ日から
年	月		日
お買い上げ店		住所・店名・電話	

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-12